



能登半島地震の被災地を応援!!!

今年の元旦に能登半島をおそった大地震。半年近くが経ちましたが、残念なことにまだ復興には至っていません。そんな能登では、こども協定を結んでいる福島大学の災害ボランティアセンターの大学生が復興ボランティアとして活動しています!!! 今までは被災地として、支援を受けることが多かった子どもたちですが、いつも関わっている大学生から能登半島の話を聞き、今度は勇気づける番!!! ということで、**今月、特に被害の大きかった輪島市門前地区の皆さんに向けて、応援メッセージを作成しました!!!** 門前地区のマスコットである「もんちゃん」と檜葉町のゆず太郎が仲良くなっています。小学生は全員が震災以降に生まれた世代。**活動を通して、自分たちが直接体験したわけではない3.11への意識も高まったようでした。** 自分事として捉えられる子どもたちに育ってほしいと思います。



12 年間を見据えた幼児教育も充実中です!!!

4 月に全家庭配布させていただいた教育パンフレットはご覧いただけただでしょうか。町では「日本一の教育」の実現に向け、こども園から中学校までの 12 年間（保育期間を除く）を連続的に捉えたダイナミックな教育の展開に向けて、学校運営協議会での議論を踏まえながら、改良中です!!!

重点の一つであるこれからのさらなる国際化を見据えた英語教育の重視では、小学校での英語活動のプログラムをもとに、段階的に接続させるための英語遊びの展開に向けて、他自治体の事例も参考にしながら試行中。子どもたちが遊びながら外国語に親しめるようにしています。

もう一つの特長であるさらなる IT 化・情報化を見据えたタブレット遊び。タブレットの良さを活かし、好きに絵を描いたり、遊びを通して空間認知能力を高めたりしています。中には数遊びから足し算、引き算に自主的に取り組んでいる子も。

学習ではなく、遊びの中から子どもたちがこれからの時代に求められる資質や能力を高められるよう、保護者や地域の皆さんとともに話し合いながら教育活動を進めていきます!!!



まちをより良くするために小学生が提案!!!

4年目に入った地域と学校の協働連携による子ども議会の活動。今年の6年生も町がさらに住みやすくなるため、自分事として考え、提案をまとめました。

陸前高田で学んだり、防災ウォークを企画したり、3.11のイベントで町民に向けて発表したりと、特に防災に対し



て意識の高い6年生ということで、防災・減災に向けた提案が多かった今年。SDGsと絡めて、消費期限の近い非常食を町民に配布したらどうか、地区ごとの避難訓練を再開したらどうか、若い人が震災の語り部を引き継ぐのが大切ではないかなど、具体的な提案が多く見られました。

また、町内に増える移住者のための提案も見られ、例えば英語を母国語としない外国人のための生活ガイドブックの作成や空き家をリフォームした宿泊施設などの意見も挙げられました。

今年もこの中のいくつかの提案を、町役場や協働センターでは子どもたちとタイアップして実現させていく予定です。どの提案が来年度、具現化されているか、楽しみになさってください!!!

【子どもたちの提案の概要】

- 全町民を対象とした避難訓練の実施
- 町内全体をフィールドとしたウォーキングイベントの実施
- 大人が参加できる町内の職業体験
- 震災語り部活動を盛り上げる取組
- 町内在住の外国人向けの生活ガイドの作成
- 町の魅力を発信するCMと観光ツアーの実施
- 檜葉の自然を活かした宿泊施設
- 乳幼児の一時的なサポートサービス
- 健康増進のための健康レシピ作り
- 緊急時に使いやすいハザードマップの作成
- 目が不自由な人のための音声ガイド装置の設置
- 町内の映えスポットをまとめた観光マップ
- 緊急時に備えた非常食の入った防災バッグの配布
- 空き家を活かした宿泊施設
- 町民が交流できる地域運動会

防災に関する協定を締結した鎌倉市との交流がスタート!!!

来月末にはくらし安全対策課と協働センターの合同企画である防災をテーマとした宿泊体験活動が実施されます。昨年度は岩手県の陸前高田市を訪問しましたが、今年度は防災協定を結んだ鎌倉市の小学生と防災を通じた交流をするともに、国が東京の有明に設置した「そなエリア」でVR体験などの最先端防災学習を通して、学びを深めてきます。学んだことは3.11のイベントで町民の皆さんに発信予定です!!!



【地域学校協働センターからのお知らせ】

○ 環境イベント「サステな meeting」について

7月6日（土）13時から16時まで、コミュニティセンターにおいて、SDGsのイベントが実施されます。当日はならはっ子子ども教室で学んだ子どもたちがSDGsの取組を発表するほか、小学校内にある協働センターの畑で地域の皆さんと共に子どもたちが育ててきた（小中学校の残飯を肥料に加工して使用しています!!!）夏野菜を使って、食育改善指導員さんとともに子どもたちがおいしい手料理をふるまいます。ぜひお越しください!!!